
**平成23年度 第7回 府中市高齢者保健福祉計画・
介護保険事業計画推進協議会
議事録要旨**

【日時】 平成23年12月20日（火）10:00～11:30

【場所】 北庁舎3階 第3会議室

【出席者】

1 委員

近藤委員、鈴木（恂）委員、武市委員、田中委員、能勢委員、原田委員、渡邊委員、和気委員（会長）

（欠席者）角田委員、鈴木（眞）委員（副会長）、島村委員、田口委員、竹内委員、矢ヶ崎委員

2 事務局

鎌田保健福祉部長、芦川保健福祉部次長、柏木高齢者支援課長補佐、山田介護保険担当副主幹、堀江地域支援統括担当副主幹、板橋地域支援係長、立浪介護サービス係長、高野施設担当主査、関根介護保険係長、林介護認定係長、吉野事業者指導係長、山中介護予防担当主査、村岡包括ケア担当主査

3 傍聴者 6人

4 コンサルタント会社

田中、中村

【日程】

1 開会

2 議事

（1）第5期介護保険料について

（2）その他

【配布資料】

◎資料

・第5期介護保険料について

・平成24年度以降の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進協議会のスケジュールについて(案)

【議事要旨】

1 開 会

事務局及び会長より、開会の挨拶が行われた。

2 議 事

(1) 第5期介護保険料について

【説明】

事務局より資料（1～6、別紙1）「第5期介護保険料について」に基づき説明が行われた。

【質疑応答・意見】

(介護報酬改定に伴う保険料の変動について)

「質問A」

○介護報酬が決定することでサービス単価が変わり、保険料が上昇したり下がったりするが、その見込みはどの程度なのか。

「回答A」

○介護報酬の改定について、地域区分の見直しが、府中市エリアでは10%から12%と言われている。今回の給付費総額の見込みは12%で算出しているので、10円、20円ぐらいの範囲で上下すると見込んでいる。いろいろな情報を聞く中で介護報酬本体については上がらないだろうという情報があるが、地域区分のところでの影響が若干反映されるという状況であり、個々のサービスのメニューごとの報酬単価は、まだ決まっていない。

(介護保険給付費等準備基金について)

「質問B」

○介護保険給付費等準備基金を切り崩すが、3年後はどれくらいになっているのか。なくなってしまわないのか。

「回答B」

○3億1,700万円は1期から4期までに積み上げてきたもので、それを今回活用する。第5期について、計算では3年間でペイすることになっている。よほど被保険者数が増えたり、給付費がここまで行かないという状況がない限り、±0で想定している。結果的に保険料の伸びや給付費が若干下がることで、余剰金を基金に積み立てることは結果としてはある。

「意見C」

○第6期はもうないということですね。本当に今後はかなり厳しい状況で、最終案でも5,000円も超えており、5,000円はやむを得ないということですね。

「意見D」

○第1期から3期まではサービスを利用しない方のお金を余剰金として積み立ててきたが、第4期に保険料が大きく上昇することになったので、上昇を抑制するためにそのお金を使った。だから4期は3期と変わらないという自治体があった。4期の計画策定時、次回計画時に保険料の上昇を抑える手立てがなくなるのではないかと危惧していた。案の定、今回、抑制する手段がなくなってしまい、そのままだと5,000円をオーバーしてしまうということになって、東京都も

多少慌ててしまい、保険が赤字になったところに東京都として補てんをするために積み立てていた財政準備基金を取り崩して、東京都全体の保険料が上がるのを抑制し、ようやく5,000円を抑え込んでいるという状況である。そのため、次期は何か特効薬でもない限りはさらに上がってしまう。

(他自治体の保険料について)

「質問E」

- 他の自治体はどのような状況か。

「回答E」

- 4,000円前後の自治体もあるが5,000円前後で調整を図るところが結構多い。

「意見F」

- 23区と26市では少し状況が違うが、26市のこの近隣では大体平均的な値になっているのではないか。昨日、東京都全体の介護保険計画の策定委員会があったが、大体5,000円前後だった。突出して高くもなければ、安くもないという状況である。23区をみると、高齢化が進んでいる地域では非常に厳しい状況になっている。

(新規に創設されるサービスについて)

「質問G」

- 新しい地域密着型サービスとして、巡回型や複合型サービスが示され、25年度以降について給付費と人数が多少見込まれている。もしそのサービスがこれ以上に増えた場合、抑制するか受け付けないのか。

「回答G」

- 定期巡回等については、説明したとおり市内での整備ではなく、他市同意という形での利用希望者を見込みで出している。これから増えてきたときにどうするかは、当面様子を見て考えていく。ただ、近隣の整備状況が余りにも進んだ場合は、改めて検討していかなければならない。枠は年間一人だからということで抑制をかけるということは考えていない。認定についても、給付を抑制するために審査会で何かしらの働きかけをするというようなことも全く想定していない。

「意見H」

- 定期巡回と複合型について、高齢者の独り暮らし世帯の安心・安全のためには、全くやらないと言い切ってしまうといいのか。市民の需要があれば、そこに対応する余地は残しておいた方がいいのではないか。

「回答H」

- 御意見のとおりである。利用者ニーズは常に把握していかなければならないと考えており、調査・検討を引き続き行い、その中でやはり整備が必要ということであれば、保険者として考えていく。

(第5期の保険料について)

「意見I」

- 4,850円を利用者がどう思うかだが、前回の話し合いの4,500円前後という感覚からすれば、これぐらいは仕方がない。

「意見J」

- 保険料段階の低い方の負担をできるだけ抑え、多い方の負担が増える案2が妥当な数字ではないか。制度として厳しくなり、利用者満足と言えるようなケアプランに届かないときがある。保険料が1,000円近く高くなり、「介護保険を掛けていてよかった」と言えるような制度にしないといけない。

「意見K」

- 案2が現状を見れば適切である。払う立場と本職のリハビリの立場があり、非常に微妙な、複雑な思いである。このあとの3年後の改正が非常に厳しいと感じた。

「意見L」

- 総額が決められており、それをどう分け合って払うか。確かに所得の低い方がかなり上がってしまうのはよくないので、案1か案2ということになる。案2は14段階あり、この第14のところの了解が得られれば、基準額が一番安いので良いのではないか。了解が得られなければ案1だと思う。

「回答L」

- 他市で料率が2%を超えるところをみると、2.30というところが26市の中で4カ所ある。それ以外のところの上限料率は2.0がほとんどである。これは第4期であり、第5期については、低所得者の部分が分割されるので、いろいろな市町で、多段階制や、さらなる細分化を考えていると思う。

「意見M」

- 7段階から10段階の負担等々を考えると、2案が一番妥当だと思う。これからは、介護保険の中身を府中市民がきちんと理解しながら上手に使っていくという、啓蒙的な部分も非常に大事である。予防をしっかりやることにより、高額介護報酬も抑えられるので、今後のやり方にかかってくると思う。

「意見N」

- 介護保険料が上がるので、段階を多くした第2案が適当である。

「意見O」

- 平均的な数字が一番多い階層にウェートを置いたような所得区分になっているほうが理解はしやすいのではないか。だから案2は当然良いし、案3の方がより細かいとも見た。案2は収入の多い人をさらに区分するという意識ばかりをしているようにも見られてしまう気がする。どちらが良いというわけではないが、案3も1つ考えとしてはあるのではないか。

「意見P」

- 所得再分配効果は、介護保険制度ではそんなに高くないことに注意してもらいたい。また、全体の分布がどうなっているのかということも考えておかなければいけない。低い層にはできるだけ負担を少なくして、高い層に多くという考え方は間違っていないので、案1はともかく、案2のほうがそういう姿勢は明確にできる。ただし、2.30という層の人たちが果たしてどれぐらいいるのかということも気をつけておかなければいけない。また、1,000円上昇するという事実と、市民の人たちがどう受けとめるかという上昇感は違う。今回は1,000円近く上がってくるので、市民に中身をきちっと理解していただく。つまりこういう手続で、こういう計算をして、その結果としてやむを得ずこれぐらいの金額に上げさせていただきますと。なおかつ、地域特性が似ている近隣市で突出しているわけでもなく、これぐらいが妥当であると理解をいただき

たいと。しっかりと市民に伝え、この制度に対する理解、支持、支援が大事である。厚労省は「持続可能性」という言葉をよく出すが、それが個人的には持続可能性の1つの重要な要件だと思っている。さらには、利用者の満足度や満足感も重要である。あとは、これだけお金を払うが将来はすごく良いのだというような、少し未来に夢を持てるような内容を計画書に記載することも必要である。

(2) その他

【説明】

事務局より資料「平成24年度以降の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進協議会のスケジュールについて」に基づき説明が行われた。

次回の協議会は、1月の下旬から2月の初旬の間で調整することとなった。

以 上